

1. 「北陸フェムテックネットワーク」の設立

協議会の名称

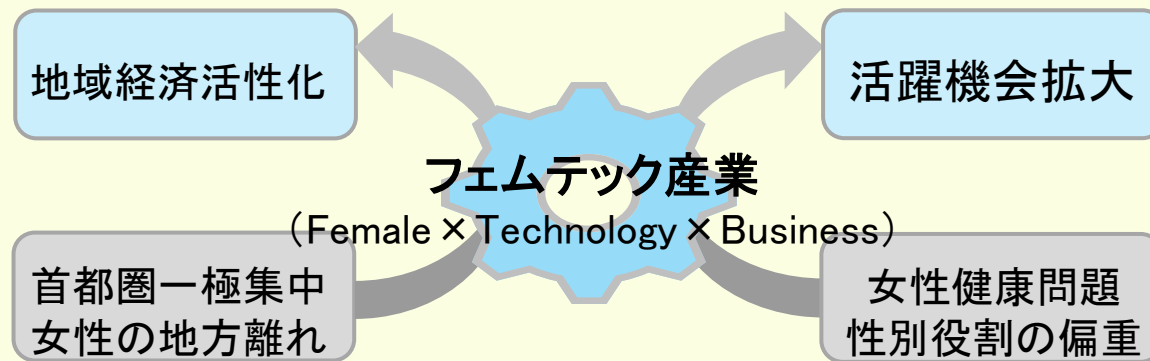
地域経済を動かす新たな力となる **北陸フェムテックネットワーク**

協議会のビジョン

『北陸から日本全国へ、日本全国から北陸へ、フェムテック産業振興と誰もが活躍しやすい社会の構築を目指す』

北陸フェムテックネットワークは、フェムテック産業振興による地域経済の活性化と誰もが活躍しやすい社会の実現を目指し、地域の資源や技術を活用しながら、持続可能な社会とエコシステムの構築を推進する。

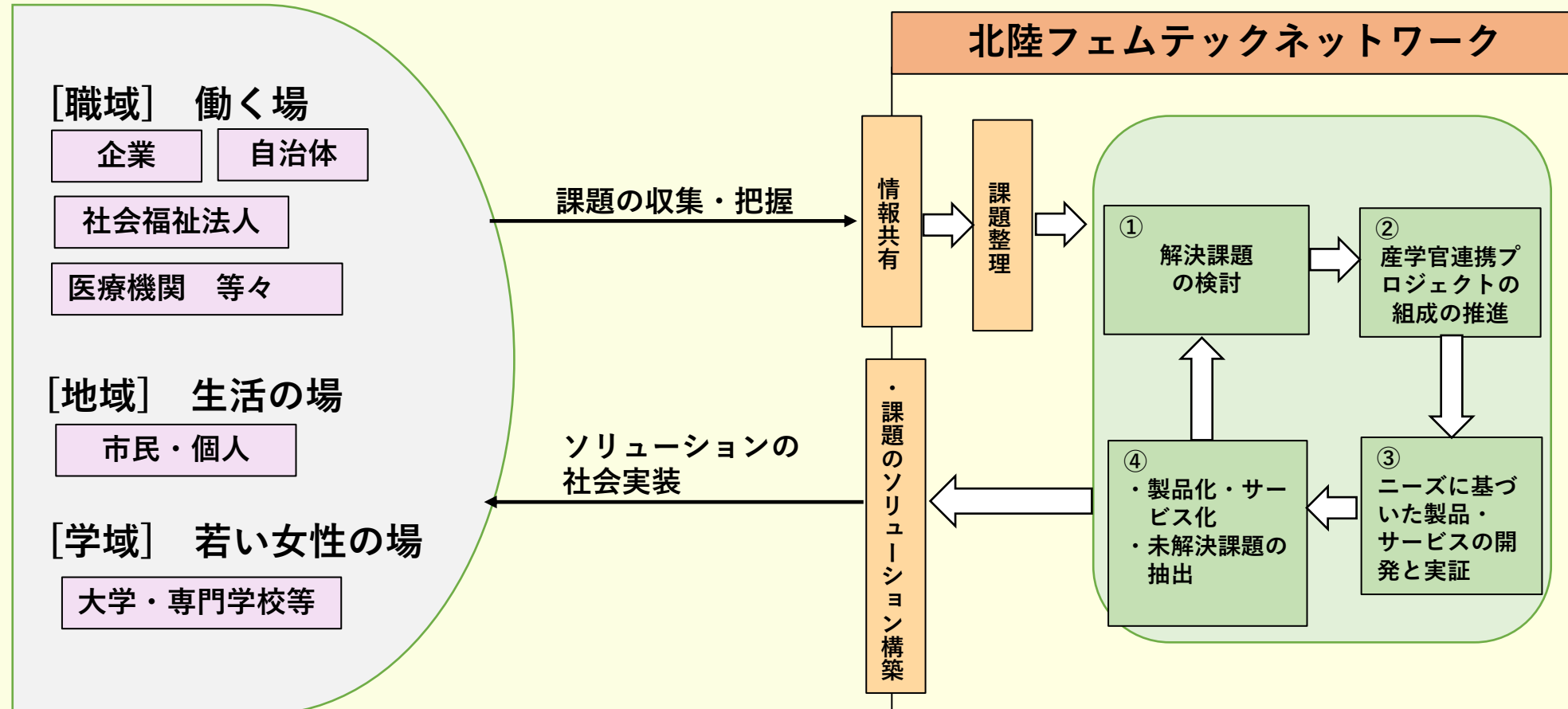
また、国内外からも先進技術や知見を積極的に取り入れ、双方向の交流を図ることで、北陸をDE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)とフェムテック産業のリーディングモデルとする。



2. 「北陸フェムテックネットワーク」の活動

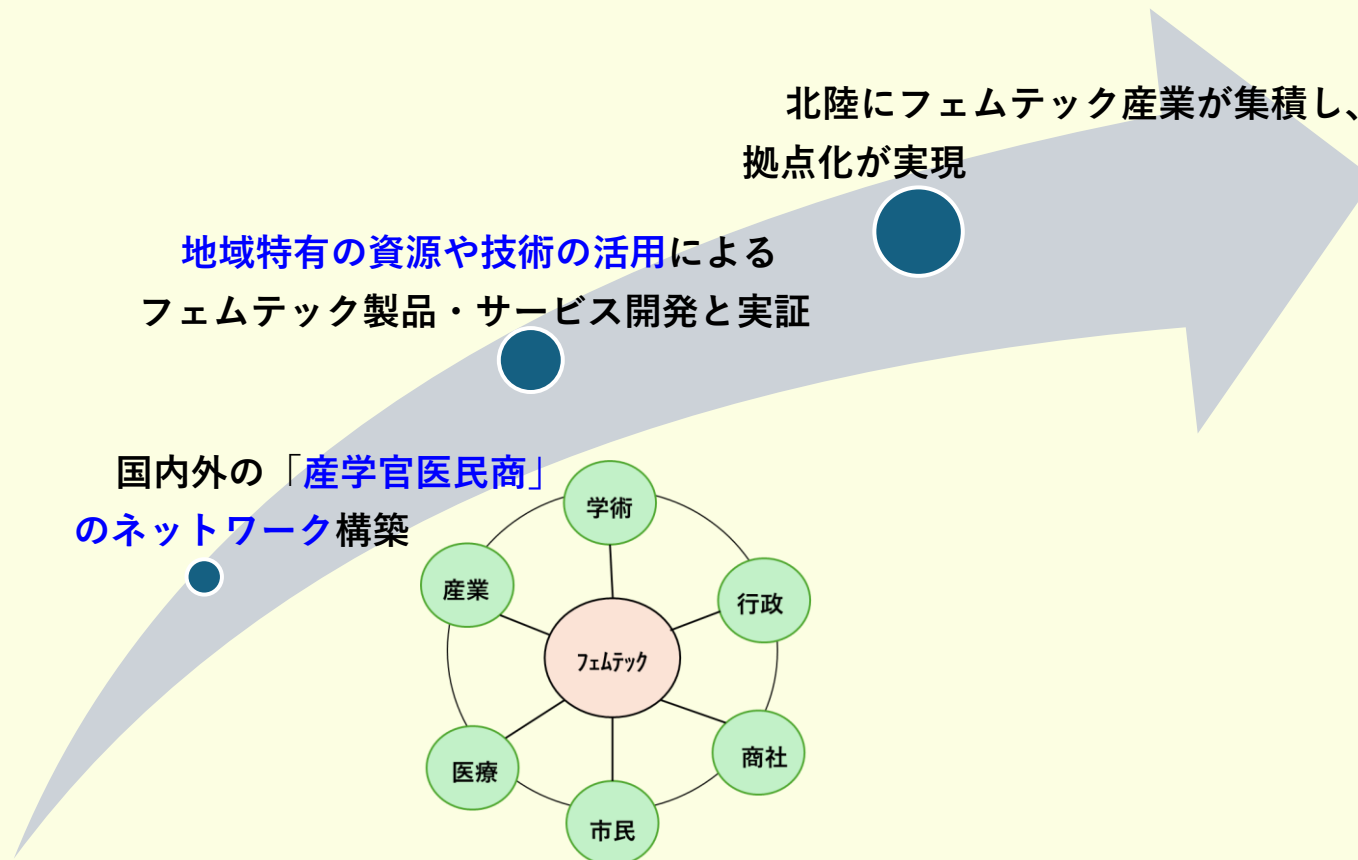
(1) 女性活躍推進に向けた課題の収集・把握およびソリューションの検討

- ・ 会員へのヒアリングを通じて、職域・地域・学域における女性活躍推進の課題を収集・分析
- ・ 収集した課題に基づき、フェムテックを活用したソリューションを検討



(2) 「産学官医民商」ネットワーク構築およびフェムテック製品・サービス開発と実証の支援

- ・ フェムテック市場の成長を促進するための情報提供・マッチング支援
- ・ 技術開発、製品開発のサポート(国プロジェクト組成・補助金獲得支援)
- ・ 開発した製品・サービスの実証
- ・ フェムテック産業振興を目指した人材育成(起業家の育成と支援等)



北陸地域における ウェルビーイングの向上

- ・ DE&I(ダイバーシティ・エクィティ&インクルージョン)進展
- ・ 健康経営浸透
- ・ 性別役割分担改善
- ・ 健康に無関心な若者の行動変容
- ・ 更年期障害対策構築
- ・ 所得が増え、北陸のGRP(域内総生産)が東京並みの水準 他

(3) 災害発生時におけるフェムテックの活用

a. 能登半島地震・豪雨災害を踏まえた課題

- 大規模災害発生時の女性支援物資が不足
- 避難所における女性負担の偏り、被災後の健康被害 etc

b. 解決に向けたアクション

- 被災地の自治体や現地で活動するNPO等を訪問し、大規模災害時における女性の健康・衛生・安全に関する課題を収集・把握
- フェムテック製品を活用した災害時の女性の健康リスク軽減や備蓄について検討し、自治体等へ提言

3. 「北陸フェムテックネットワーク」の体制

- ・ 会長、副会長、事務局を中心とした運営体制
- ・ 組織の活動を協議する運営委員会設置
- ・ 職域、地域・学域に、専門委員会設置
- ・ 外部評価委員会による第三者評価を実施

